

第1節 環境啓発事業

1 環境学習会の開催

小瀬川干潟観察会

▼目的

干潟観察会を開催することにより、市民等に小瀬川河口の干潟に生息する生き物を知ってもらうとともに、その生態等を学んでもらうことで、環境の保全に関する認識及び関心並びに本市の環境について理解を深めることを目的に実施しました。

▼主催

大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

平成30(2018)年8月26日(日)
午後2時30分～午後5時30分

▼実施場所

大竹市東栄「小瀬川河口の干潟」及び「大竹市リサイクルセンター研修室」

▼参加人数

大人・10名、子ども・15名
合計・7組、25名
ほかボランティアスタッフ・1名

▼実施内容

生き物の採集

講師によるアドバイスを受けながら生き物を捕まえました。

分類作業

参考資料を見ながら、捕まえた生き物を分類しました。

解説

捕まえた生き物の名前や生態等を講師が解説しました。

実験

干潟に生息する生き物を用いた実験を行いました。

清掃活動

参加者全員で海ゴミの収集を行いました。

▼成果

アサリ、マテガイ、クロダイなどの有用魚介類をはじめとする多くの生き物の観察を通じて、大竹市沿岸が多様な生き物を育む場であることを認識してもらうことができました(資料編P36に生き物の一覧あり)。また清掃活動を通して海ゴミの存在を認識してもらい、環境保全に取り組む機運を高めることができました。

以前本事業に参加していた方が、本事業の趣旨に賛同し、ボランティアスタッフとして協力してくださいました。



地引網を用いた採集の様子

川の生きもの観察会

▼目的

本市に多くの水生生物が生息する環境があることを、市民等に知ってもらうとともに、その生態等を学んでもらうことで、本市の自然環境への理解及び環境保全への関心を深めること、また参加者同士の交流を促し、異世代交流の機会を創出することを目的に実施しました。

▼主催

大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

平成30(2018)年7月14日(土)
午後2時～午後5時

▼実施場所

栗谷小学校体育館及び周辺

▼参加人数

大人・39名、子ども・56名
合計・95名

(栗谷小学校児童, 保護者及び先生並びに市生涯学習課主催のジュニアリーダー育成事業参加者を含む)

▼実施内容 ※前週の豪雨災害の影響を受け内容を変更して実施

採集方法の実践

講師から採集方法の説明を受け, 高学年の参加者が実践しました。

分類作業

講師が事前に採集した生き物を用い, グループで協力しながら分類しました。

解説

採集した生き物の名前や生態等を講師が解説しました。

水質判定

採集した生き物をもとに水質判定を行いました。

▼成果

多くの身近な生き物が絶滅を危惧されている現状で, 玖島川には思った以上にたくさんの生き物が生息しており, きれいな水質であることを認識してもらうことができました(資料編 P37 に生き物の一覧あり)。

市街地で生活する多くの児童に栗谷地区の自然を体験してもらい, また栗谷地区の児童には生態等の新たな知識を習得してもらうことで, 本市の環境への理解及び環境保全への関心を高めることができました。



生き物の生態を解説している様子

コイ・こいフェスティバル出展 (環境・企業 PR コーナー)

▼目的

多くの人に, 大竹市に生息する水生生物を知ってもらい, その生態等を学んでもらうとともに, 脱温暖化やごみの減量等について考えてもらうことで, 本市の環境が改善していることへの理解並びに環境の保全に関する認識及び関心を深めることを目的に実施しました。

▼主催

大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

平成 30(2018)年 11 月 11 日 (日)

午前 9 時 30 分～午後 4 時

▼実施場所

総合市民会館 2 階ホール

▼来場人数

約 1, 300 人

▼実施内容

ミニ水族館

市内の川や河口で採集した生き物の展示やタッチプールを設置しました。

環境整備課の業務に関する啓発

ヒアリ等の観察, 水質判定体験, ごみ分別ゲームの実施, 不法投棄箇所や市内の環境測定数値の掲示等を行いました。

省エネ体験

自転車での発電体験や, 家庭の電気使用状況等を用いた「うちエコ診断」を実施しました。

市公衆衛生推進協議会の活動紹介

公共の花壇での植栽に取り組みされる団体や実施場所を紹介しました。

リユース工作教室

親子でできる, 廃材を利用した工作体験を行いました。

企業 PR

市内企業が実践する環境保全の取組などを企業の担当者に紹介してもらいました。

▼成果

本市の水辺に多くの生き物が生息している

現状を知ってもらい、環境保全に対する関心や興味を高めるとともに、環境について多角的な視点で考えてもらえたことで、環境保全について市民自ら取り組める行動について啓発することができました。

また、市や企業、地域が一体となって努力してきたことで、本市の環境が他市町と遜色のない状態に改善されていることを多くの方に認識してもらうことができました。



トイレットペーパーの芯を使った工作の様子

2 広報活動

▼概要

本市の環境の状況を知ってもらうため、環境測定数値や環境啓発事業の紹介記事を市広報等に掲載しました。

▼実施内容

①市広報による啓発

平成30年10月号

「大竹市にすむ水辺の生き物」

平成31年2月号

「数値でみる本市の環境（大気関係）」

平成31年3月号

「コイ・こいフェスティバルへの出展」

②市ホームページ及び市フェイスブックによる啓発

市主催の環境学習会の紹介や報告

第2節 環境保全活動の連携・参加

ひろしま環境の日

▼概要

国は、6月5日を「環境の日」、6月を「環境月間」と定めています。また、県は、地球温暖化防止のため、一人ひとりの環境意識を高め、行動してもらうことを目的に、毎月第1土曜日を「ひろしま環境の日」と定めています。

本市では、これを踏まえ、環境保全への取組を啓発するために、広島県が定めた「ひろしま環境の日における一斉行動」を「広報おおたけ」に掲載しました。

▼実施期日

毎月

▼対象

市民

工場周辺等一斉清掃活動

▼概要

環境保全の意識高揚を図るため、行政と事業者が連携して、市の施設及び工場周辺の投棄ごみの回収、草刈り等の一斉清掃を行いました。

▼主催

大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

平成30年6月14日（木）

▼実施場所

御幸町、東栄1、2、3丁目、明治新開

▼参加団体

三菱ケミカル株式会社

日本製紙株式会社

日本通運株式会社

山九株式会社

河崎運輸機工株式会社

戸田工業株式会社

中国塗料株式会社

大竹明新化学株式会社

三井化学株式会社

三井・デュポン ポリケミカル株式会社
株式会社ダイセル
上下水道局下水処理場
大竹市リサイクルセンター

※三井・デュポン ポリケミカル株式会社は、平成31年4月1日付けで三井・ダウ ポリケミカル株式会社に社名を変更。

夏至の日ライトダウン

▼概要

地球温暖化防止及び省エネへの取組の一環として、市職員に対しノー残業デーの取組を実施し、市庁舎等のライトダウンを行いました。

▼実施期日

平成30年6月21日（木）

▼実施場所

市庁舎等の公共施設

ひろしまクールシェア

▼概要

広島県では、夏の省エネ対策として、家庭から県・市町の公共施設や商業施設等に出かけて、涼しさを分け合う取組を実施しています。

これに賛同し、本市でも公共施設で本取組を実施しました。

▼実施期間

平成30年7月14日（土）～9月17日（月）

▼実施場所

子育て支援センター
さかえ子育て支援センター
松ヶ原こども館
大竹市立図書館
大竹会館
サントピア大竹

光化学オキシダント夏期特別対策

▼概要

広島県では、夏期に多く発生する光化学オキシダントの原因物質の排出を減少させ、健康被害等の発生及び環境汚染の進行を未然に防止

するため、マイカー通勤及び不要不急の自動車の運行を自粛するよう協力を求めています。

これに賛同し、本市でも職員に対して同様に協力を求めました。

▼実施期間

平成30年6月1日（金）～8月31日（金）

▼対象

市職員

おおたけクリーンキャンペーン

▼概要

「きれいで快適なまちづくり」を目的とし、自治会等が個別に行っていた地域清掃を、9月の第4日曜日に統一して行うことで、住民等の清掃意識を高めました。

▼共催

大竹市公衆衛生推進協議会
大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

平成30年9月23日（日）

▼実施場所

大竹市全域

